



枕崎弁 『すんじら狂句』

ちよつしもた 今日も風呂水 あふれ出つ
(唱) 韓ドラ観かたに 御地蔵さんぢやが
(唱) 草払い 嫁は座敷つで ブルマウンテン (同氏)
(唱) 出た腹ひっこめ 歩んかたはすい
(唱) ばか夫婦 今日もあちこち ポラントイア (同氏)
(唱) 頼もしゅかもん 善か夫婦ぢわし
(唱) おどろつか オチも踊れば おもしろが
(唱) 火男ん面が 要らんたつでま
(唱) 眼にはドロサ ヘキサエン酸 はつががつ
(唱) 脳にヤエイコサ ベンタエン酸
(唱) カピッがまっ じったっ季節の ふと巡い
(唱) 一滴の汗 臭えなすっこだ
『謎掛け』『祭い』とかけて、なんとなく『雑節』となく、そのころは？右の右下に答えて。



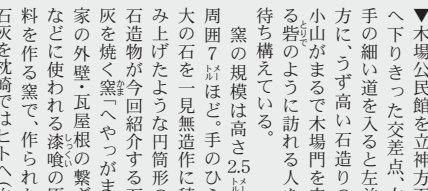
1 寿星踊りをする市民有志
2 まんたステージに立て掛けられた寿星踊りの横写(ペンキ絵)

おわぢ野の昔を訪問
ロマネスコ
市文化財保護審議会委員のちゃんサネさんが、枕崎の昔をかたる場所や物を訪ねて、ようよう一句ひねりませ。

代歌川広重(東海道五十三次の安藤広重の弟子)
筆の浮世絵版である。
江戸時代とはいえ諸国名所百景の一選、薩摩富士に立神君、前ん海、しかも松の尾の浜(まんのや)でお武家が踊つてゐる、これが寡聞の寿星踊り。いずれを観ても実写とは思えないデフォルメがまた興味津津、江戸で噂になるほど枕崎の景色が勝れていたということだ。
長い頭の被り物をして七福神の寿老人(長寿神、寿星、南極星)になりすました武家が、頭に蜂が巣をかけ、手で払いたいで届かぬので、互いに頭をすりあわすという踊りの振付。なんとも粋狂な踊り、これが鹿籠を治める喜入の殿さまの
(唱) 錦絵だながち ベンキ絵でよがちは
(唱) 飾つてくれんけ 寿星踊い
(参考資料)枕崎市誌下巻47、4頁市ホームページ(広報紙掲載欄)に「長生きやいの唄(お囃し付き)掲載

観光ボランティアガイドの『のたり旅日記』③

枕崎市観光ボランティアガイドの2グループ『花渡川クラブ』と『わだつみ会』が隠れた枕崎観光の魅力に迫ります。



へやっがま(石灰焼窯)
▼本場公民館を立神方面へ下りきった交差点、右手の細い道を入ると左前方に、うず高い石造りの小山がまるで木場門を守る砦のように訪れる人を待ち構えている。窯の規模は高さ2.5m、周囲7mほど。手のひら大の石を一眼無造作に積み上げたような円筒形の石造物が今回紹介する石灰を焼く窯(へやっがま)だ。家の外壁・瓦屋根の繋ぎなどに使われる漆喰の原料を作る窯で、作られた石灰を枕崎ではヒトへ(白灰焼と呼んでいた。江戸時代後期に薩摩藩が編纂した『三名勝図会』が編集した『三名勝図会』に



▼本場公民館を立神方面へ下りきった交差点、右手の細い道を入ると左前方に、うず高い石造りの小山がまるで木場門を守る砦のように訪れる人を待ち構えている。窯の規模は高さ2.5m、周囲7mほど。手のひら大の石を一眼無造作に積み上げたような円筒形の石造物が今回紹介する石灰を焼く窯(へやっがま)だ。家の外壁・瓦屋根の繋ぎなどに使われる漆喰の原料を作る窯で、作られた石灰を枕崎ではヒトへ(白灰焼と呼んでいた。江戸時代後期に薩摩藩が編纂した『三名勝図会』に

国民年金

問合せ 市民生活課国民年金係 TEL72-1111 内線145

★ねんきん定期便専用ダイヤル(特別便) TEL0570-058-555
I P 電話・PHSからは03-6700-1144
★ねんきんダイヤル(一般的な相談) TEL0570-05-1165
I P 電話・PHSからは03-6700-1165



「ご存知ですか？」 「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」
学生納付特例制度
20歳以上の方は、学生であつても国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。
若年者納付猶予制度
学生でない30歳未満の方の場合には、本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予されます。
「ご存知ですか？」 「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

人のうごき
平成23年5月1日現在
男性 10,981人(+33)
女性 12,872人(+7)
合計 23,853人(+40)
世帯 11,119世帯(+62)
( )内は前月との比較
※掲載希望のあった方のみ掲載しています。敬称略
うぶごえ・おくやみ
4月16日〜5月15日届出分
健康やかな成長をお祈りいたします。